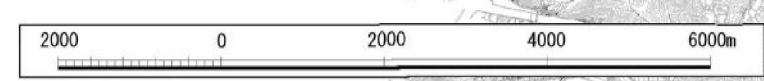
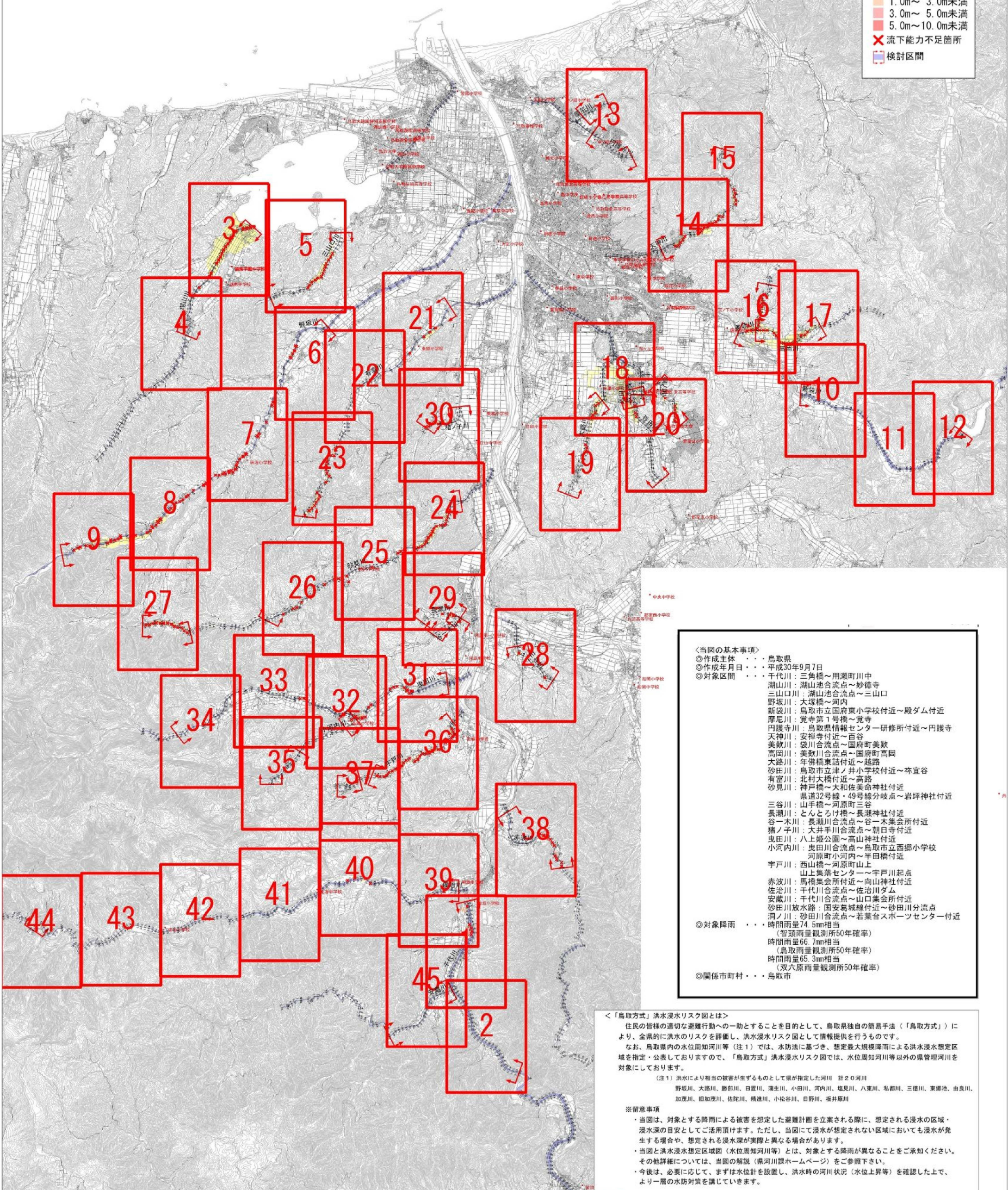


# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【千代川水系】



**凡例**

- ~ 0.3m未満
- 0.3m~ 0.5m未満
- 0.5m~ 1.0m未満
- 1.0m~ 3.0m未満
- 3.0m~ 5.0m未満
- 5.0m~ 10.0m未満
- × 流下能力不足箇所
- 検討区間



**<当図の基本事項>**

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・平成30年9月7日
- ◎対象区間・・・千代川：三角橋～用瀬町川中  
湖山川：湖山池合流点～妙徳寺  
三山口川：湖山池合流点～三山口  
野坂川：大塚橋～河内  
新袋川：鳥取市立国府東小学校付近～殿ダム付近  
摩尼川：党寺第1号橋～党寺  
円護寺川：鳥取県情報センター研修所付近～円護寺  
天神川：安禰寺付近～百谷  
美敷川：袋川合流点～国府町美敷  
高岡川：美敷川合流点～国府町高岡  
大路川：年俣橋東詰付近～越路  
砂田川：鳥取市立津ノ井小学校付近～祇宜谷  
有富川：北村大橋付近～高路  
砂見川：神戸橋～大和佐美命神社付近  
県道32号線・49号線分岐点～岩坪神社付近  
三谷川：山手橋～河原町三谷  
長瀬川：とんとりけ橋～長瀬神社付近  
谷一本川：長瀬川合流点～谷一本集会所付近  
猪ノ子川：大井手川合流点～朝日寺付近  
曳田川：八上姫公園～高山神社付近  
小河内川：曳田川合流点～鳥取市立西郷小学校  
河原町小河内～半田橋付近  
宇戸川：西山橋～河原町山上  
山上集落センター～宇戸川起点  
赤波川：馬橋集会所付近～向山神社付近  
佐治川：千代川合流点～佐治川ダム  
安蔵川：千代川合流点～山口集会所付近  
砂田川放水路：国安葛城線付近～砂田川分流水  
洞ノ川：砂田川合流点～若葉台スポーツセンター付近
- ◎対象降雨・・・時間雨量74.5mm相当  
(智頭雨量観測所50年確率)  
時間雨量66.7mm相当  
(鳥取雨量観測所50年確率)  
時間雨量65.3mm相当  
(双六原雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・鳥取市

**<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>**

住民の皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

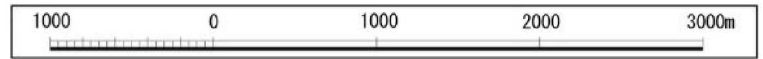
（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川  
野坂川、大路川、勝部川、日置川、瀬生川、小田川、河内川、堀見川、八東川、私都川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、旧加茂川、佐治川、精進川、小松谷川、日野川、坂井原川

**※留意事項**

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。



# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【千代川水系拡大①】



## ＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・平成30年9月7日
- ◎対象区間・・・湖山川：湖山池合流点～妙徳寺  
三山口川：湖山池合流点～三山口  
野坂川：大塚橋～河内  
有富川：北村大橋付近～高路  
猪ノ子川：大井手川合流点～朝日寺付近
- ◎対象降雨・・・時間雨量66.7mm相当  
(鳥取雨量観測所50年確率)  
時間雨量65.3mm相当  
(双六原雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・鳥取市

## 凡例

- ～ 0.3m未満
- 0.3m～ 0.5m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 1.0m～ 3.0m未満
- 3.0m～ 5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- × 流下能力不足箇所
- 検討区間

## ＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

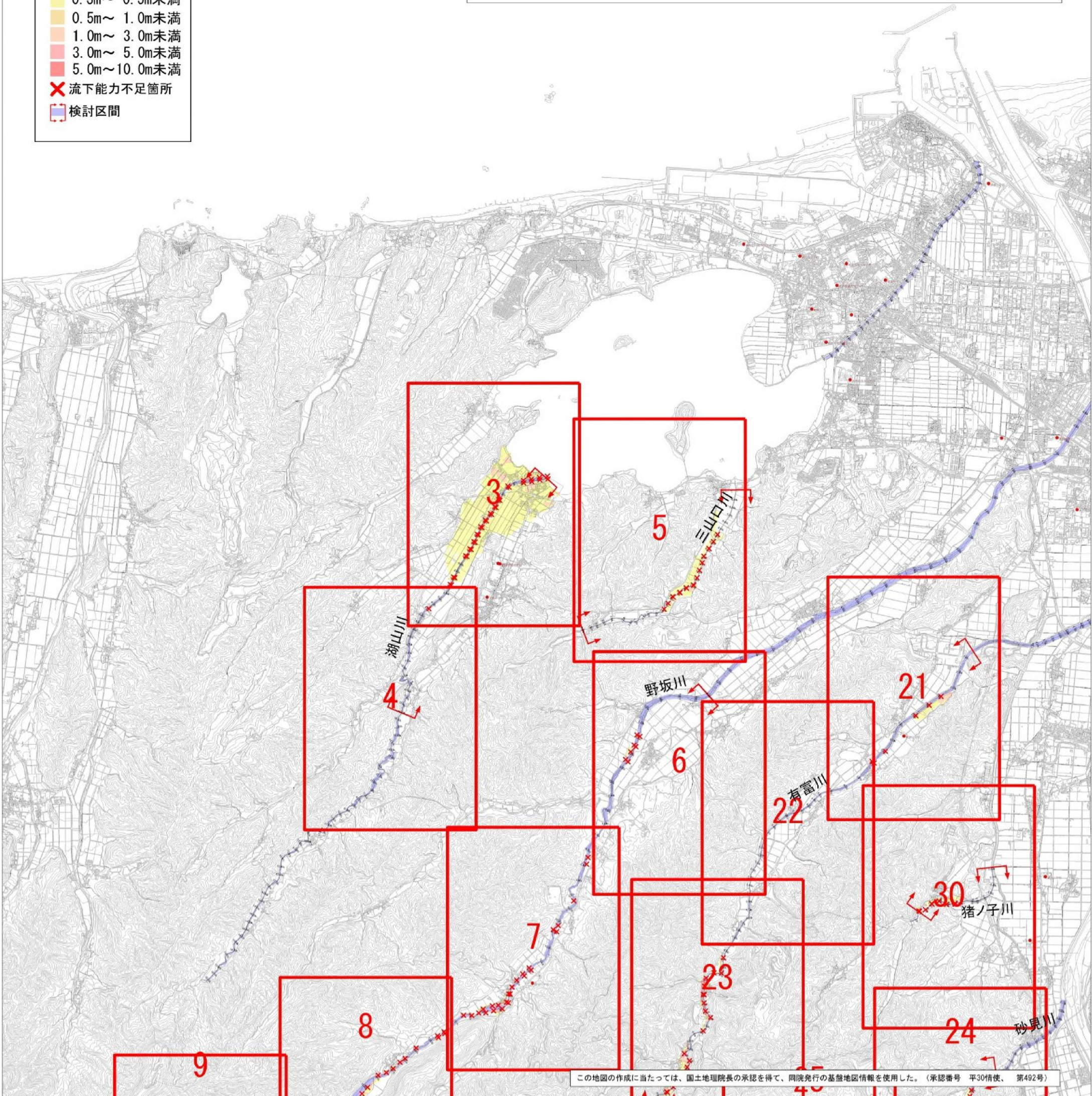
なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川

野坂川、大路川、勝部川、日置川、蒲生川、小田川、河内川、塩見川、八東川、私都川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、旧加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、板井原川

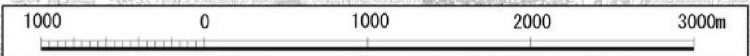
## ※留意事項

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。





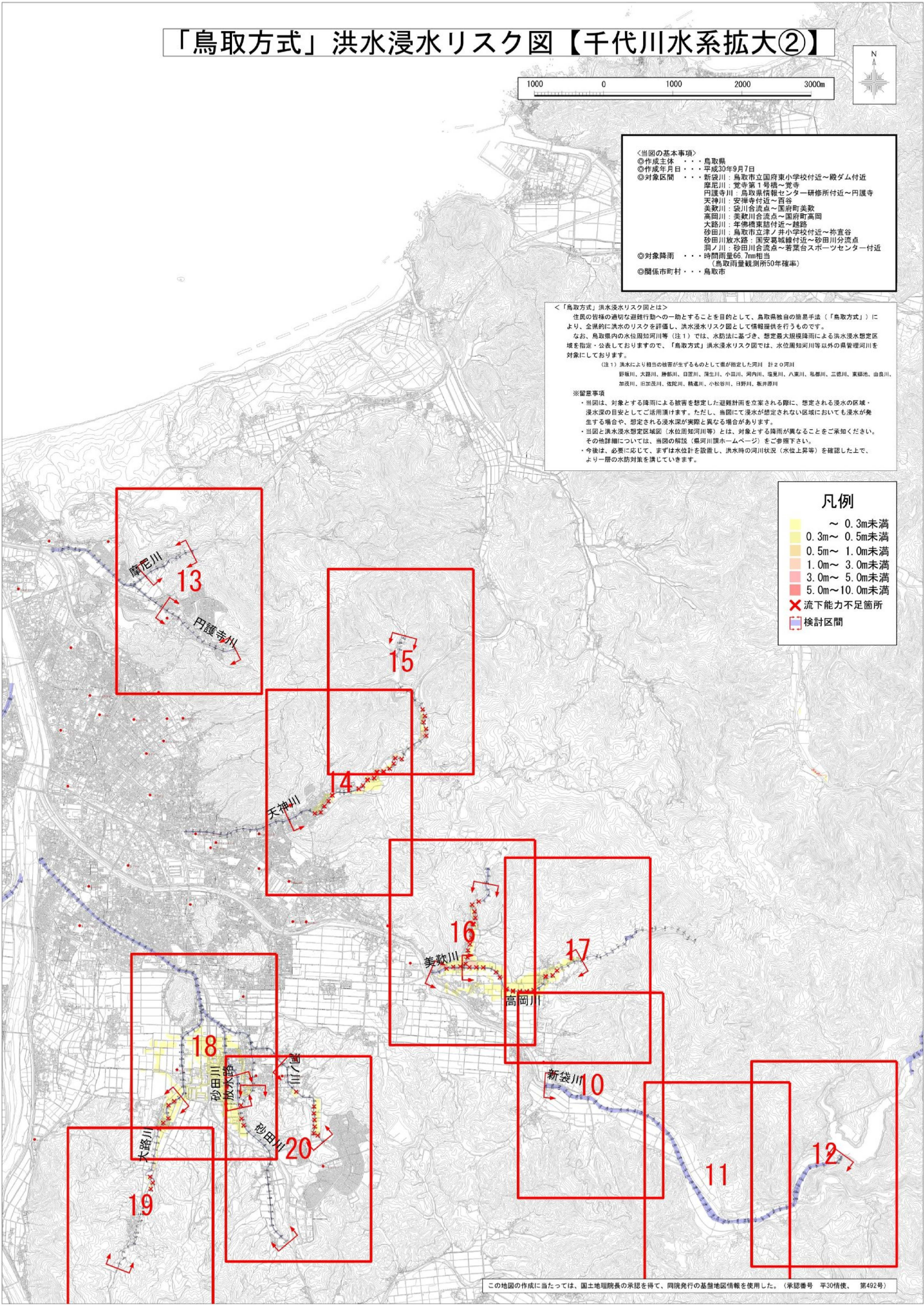
# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【千代川水系拡大②】



〈当図の基本事項〉  
 ◎作成主体・・・鳥取県  
 ◎作成年月日・・・平成30年9月7日  
 ◎対象区間・・・新袋川：鳥取市立国府東小学校付近～殿ダム付近  
 摩尼川：覚寺第1号橋～覚寺  
 円護寺川：鳥取県情報センター研修所付近～円護寺  
 天神川：安禅寺付近～百谷  
 美敷川：袋川合流点～国府町美敷  
 高岡川：美敷川合流点～国府町高岡  
 大路川：年佛橋東詰付近～越路  
 砂田川：鳥取市立津ノ井小学校付近～弥富谷  
 砂田川放水路：国安葛城線付近～砂田川分流点  
 洞ノ川：砂田川合流点～若葉台スポーツセンター付近  
 ◎対象降雨・・・時間雨量66.7mm相当  
 (鳥取雨量観測所50年確率)  
 ◎関係市町村・・・鳥取市

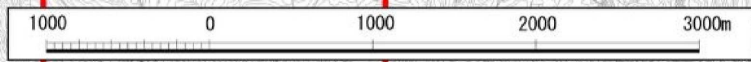
＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞  
 住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。  
 なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。  
 （注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川  
 野坂川、大路川、柳部川、日置川、蒲生川、小田川、河内川、塩見川、八東川、私部川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、田加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、飯井原川  
 ※留意事項  
 ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂きます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。  
 ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。  
 ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

	～ 0.3m未満
	0.3m～ 0.5m未満
	0.5m～ 1.0m未満
	1.0m～ 3.0m未満
	3.0m～ 5.0m未満
	5.0m～10.0m未満
	× 流下能力不足箇所
	検討区間





# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【千代川水系拡大③】



### ＜当図の基本事項＞

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・平成30年9月7日
- ◎対象区間・・・千代川：三角橋～用瀬町川中  
有富川：北村大橋付近～高路  
三谷川：山手橋～河原町三谷  
砂見川：神戸橋～大和佐美命神社付近  
長瀬川：とんとろけ橋～長瀬神社付近  
谷一木川：長瀬川合流点～谷一木集会所付近  
曳田川：八上姫公園～高山神社付近  
小河内川：曳田川合流点～鳥取市立西郷小学校  
河原町小河内～半田橋付近  
宇戸川：西山橋～河原町山上  
山上集落センター～宇戸川起点  
赤波川：馬橋集会所付近～向山神社付近  
佐治川：千代川合流点～佐治川ダム  
安蔵川：千代川合流点～山口集会所付近
- ◎対象降雨・・・時間雨量74.5mm相当  
(智頭雨量観測所50年確率)  
時間雨量66.7mm相当  
(鳥取雨量観測所50年確率)  
時間雨量65.3mm相当  
(双六原雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・鳥取市

### ＜「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは＞

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象としております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川

野坂川、大野川、勝部川、日置川、養生川、小田川、河内川、堀見川、八東川、私部川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、田加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、板井原川

### ※留意事項

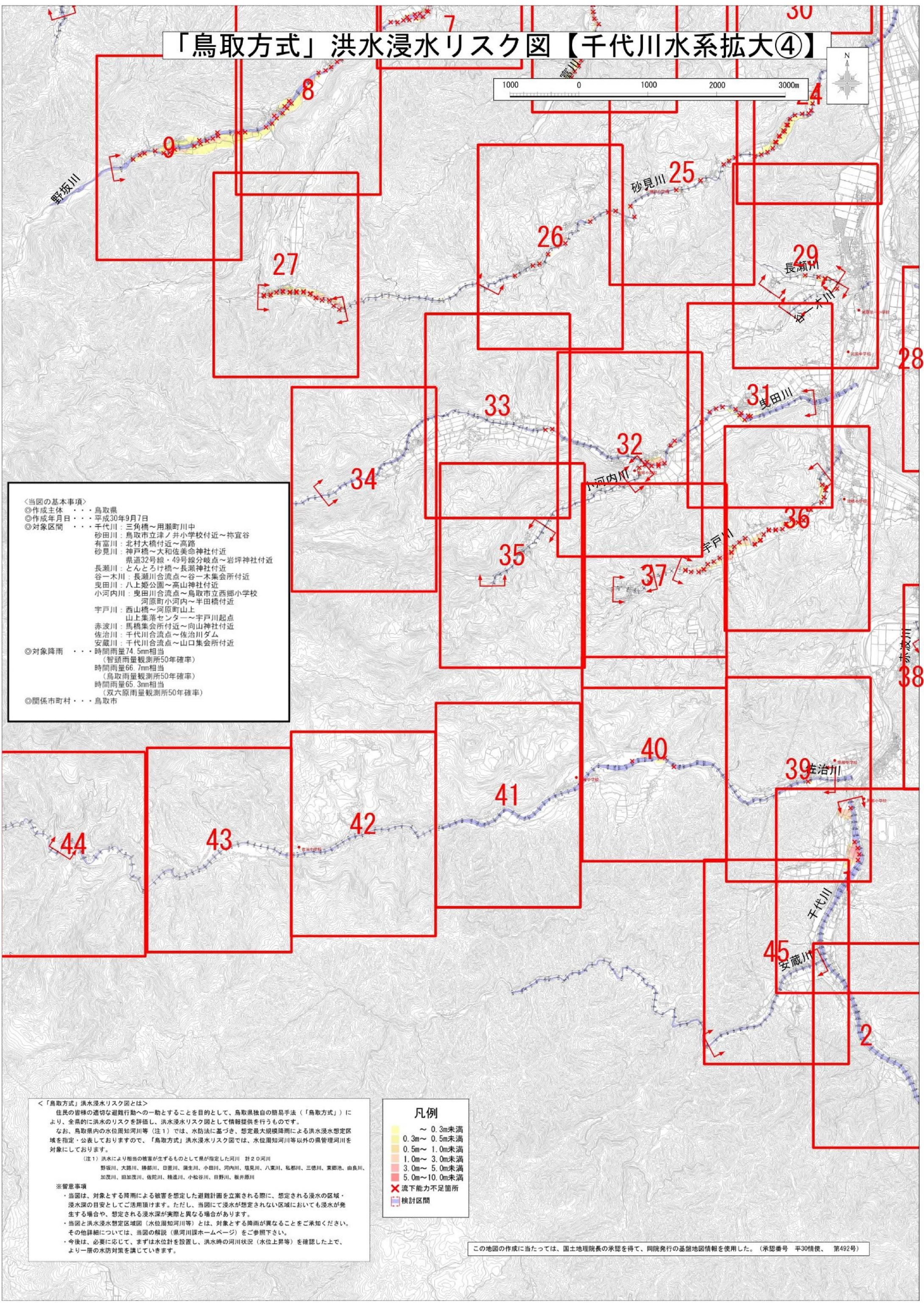
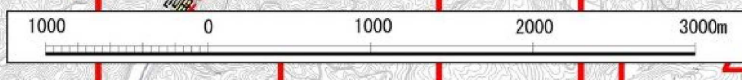
- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご利用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

### 凡例

- ～ 0.3m未満
- 0.3m～ 0.5m未満
- 0.5m～ 1.0m未満
- 1.0m～ 3.0m未満
- 3.0m～ 5.0m未満
- 5.0m～ 10.0m未満
- × 流下能力不足箇所
- 検討区間



# 「鳥取方式」洪水浸水リスク図【千代川水系拡大④】



**<当図の基本事項>**

- ◎作成主体・・・鳥取県
- ◎作成年月日・・・平成30年9月7日
- ◎対象区間・・・千代川：三角橋～用瀬町川中  
 砂田川：鳥取市立津ノ井小学校付近～祢宜谷  
 有富川：北村大橋付近～高路  
 砂見川：神戸橋～大和佐美命神社付近  
 県道32号線・49号線分岐点～岩坪神社付近  
 長瀬川：とんとろけ橋～長瀬神社付近  
 谷一本川：長瀬川合流点～谷一本集会所付近  
 曳田川：八上姫公園～高山神社付近  
 小河内川：曳田川合流点～鳥取市立西郷小学校  
 河原町小河内～半田橋付近  
 宇戸川：西山橋～河原町山上  
 山上集落センター～宇戸川起点  
 赤波川：馬橋集会所付近～向山神社付近  
 佐治川：千代川合流点～佐治川ダム  
 安蔵川：千代川合流点～山口集会所付近
- ◎対象降雨・・・時間雨量74.5mm相当  
 (智頭雨量観測所50年確率)  
 時間雨量66.7mm相当  
 (鳥取雨量観測所50年確率)  
 時間雨量65.3mm相当  
 (双六原雨量観測所50年確率)
- ◎関係市町村・・・鳥取市

**<「鳥取方式」洪水浸水リスク図とは>**

住民の皆様への適切な避難行動への一助とすることを目的として、鳥取県独自の簡易手法（「鳥取方式」）により、全県的に洪水のリスクを評価し、洪水浸水リスク図として情報提供を行うものです。

なお、鳥取県内の水位周知河川等（注1）では、水防法に基づき、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域を指定・公表しておりますので、「鳥取方式」洪水浸水リスク図では、水位周知河川等以外の県管理河川を対象にしております。

（注1）洪水により相当の被害が生ずるものとして県が指定した河川 計20河川  
 野坂川、大瀬川、勝部川、日置川、蒲生川、小田川、河内川、堀見川、八東川、私都川、三徳川、東郷池、由良川、加茂川、田加茂川、佐陀川、精進川、小松谷川、日野川、坂井原川

**※留意事項**

- ・当図は、対象とする降雨による被害を想定した避難計画を立案される際に、想定される浸水の区域・浸水深の目安としてご活用頂けます。ただし、当図にて浸水が想定されない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される浸水深が実際と異なる場合があります。
- ・当図と洪水浸水想定区域図（水位周知河川等）とは、対象とする降雨が異なることをご承知ください。その他詳細については、当図の解説（県河川課ホームページ）をご参照下さい。
- ・今後は、必要に応じて、まずは水位計を設置し、洪水時の河川状況（水位上昇等）を確認した上で、より一層の水防対策を講じていきます。

**凡例**

（薄黄色）	～ 0.3m未満
（黄色）	0.3m～ 0.5m未満
（オレンジ）	0.5m～ 1.0m未満
（赤）	1.0m～ 3.0m未満
（赤）	3.0m～ 5.0m未満
（赤）	5.0m～10.0m未満
（赤X）	流下能力不足箇所
（赤枠）	検討区間

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第492号）